

令和元年7月20日

関係各位
都海研会員各位
在外教育施設派遣を希望する皆様

東京都海外子女教育・グローバル教育研究会
会長 関 修 一
(府中市立府中第一小学校統括校長)

令和元年度 第1回 在外教育施設帰国報告会のご案内

夏季休業中とはいえ、水泳指導や部活動などでお忙しい日々を送っていることと思います。皆様には益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。平素より本会にご理解を頂きまして誠にありがとうございます。

本研究会では、在外教育施設派遣経験者・今後の派遣希望者・国際理解教育実践者を中心に、グローバル教育・海外子女教育・外国人児童生徒教育の研究活動を行っています。

さて、本年も例年のように、「在外教育施設帰国報告会」を下記の要領で開催いたします。帰国された派遣教員が経験した新鮮な海外教育事情、また国内教育への還元の実際等を発表していただくとともに、意見交流を通じて、在外教育施設派遣希望教員や今後国際理解教育を実践していこうとする皆様の研修の機会と考えています。

なお、当会は令和元年度東京都教育委員会認可の研究推進団体であり、勤務の態様(出張・職免)は管理職等に確認してからお越しくください。

言 己

1. 日 時：令和元年9月6日(金) 午後3時～午後4時45分
2. 場 所：JICA東京(※裏面地図をご参照ください。)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-4-9-5 電話 03-3485-7051(代表)

*京王新線「幡ヶ谷」駅下車(南口出口) 徒歩8分

*地下鉄千代田線・小田急線「代々木上原」駅下車(北口1出口) 徒歩12分

3. 内 容

- (1) 帰国報告 ※発表の概要は裏面をご覧ください。
深圳日本人学校 杉並区立浜田山小学校 納 太郎先生
テヘラン日本人学校 町田市立忠生小学校 北村 真先生
- (2) グループ協議と全体発表(質疑応答)

※指導・講評 東京都教職員研修センター教育開発課
指導主事 山田 陽子先生

※参加予定者の名簿を提出する必要があるため、参加される方は8月31日(土)までに都海研事務局メールアドレス(tokaikenjimukyoku@yahoo.co.jp)までご連絡ください。締め切りを過ぎてしまってもご連絡頂ければ対応いたします。また、会の終了後に懇親会を予定しておりますので、懇親会への参加を希望される方もあわせてご連絡ください。

都海研事務局：品川区立鈴ヶ森中学校 佐藤 康夫

【E-mail】tokaikenjimukyoku@yahoo.co.jp 都海研HPのQRコード

ご利用ください。 →



深圳日本人学校 納 太郎

深圳市は、中国の広東省にあり、南は香港と隣接しています。製造業や情報通信産業が盛んになり、近年は新技術開発の地として注目されるようになりました。

「中国のシリコンバレー」とも言われ、中国各地をはじめ世界から人が集まり、人口は約 1300 万人にもなります。その中で約 5500 名の在留邦人が生活をしています。深圳日本人学校は外国人が最も多く滞在している「南山区」に位置し、小学部・中学部の児童生徒約 300 名が施設を共有し、学校行事や様々な活動で交流しています。今年で 12 年目のまだまだ新しい学校です。深圳市内の現地校や大学との交流や、習熟度別の中国語学習など特色ある教育も行っています。現地の STEAM 教育スタートアップ企業と連携したプログラミング教育への取り組みも始まりました。

経済特区に指定され、わずか 30 年で急速な発展を遂げた深圳にある日本人学校の様子を報告させていただき、今後の在外教育施設の教育活動の参考にしていただければと思います。

テヘラン日本人学校 北村 真

テヘラン日本人学校（在イラン日本国大使館附属日本人学校）は昨年度創立 50 周年を迎えました。今年度は小中学部を合わせて全校児童数 14 名と小規模校ながらも子供たちはみな意欲に満ちていて活気ある学校です。イスラム革命、イランイラク戦争、隣国の政情不安、各国からの経済制裁など学校を取り巻く環境が劇的に変わる中、日本人社会の支えを受け存続し続けてきました。

アメリカをはじめ世界中がその動向を注目するイラン - イスラム共和国首都にあるテヘラン日本人学校の様子を報告させていただき、今後の在外教育施設の教育活動の参考にしていただければと思います。

